

大切な地球と未来を 守るためにわたしたちができること

2

シンパシー
ワークショップ
2019年10月29日(火)

「川の生き物」や「人間」になってみて、 どんな気持ちになったかな？

ーよう！
容器、トレイは何からできているのかな？
身近なゴミ問題について考えよう。



月9日(火)
ゲーム

の中に開店したスーパーでカレーライスの材料と飲み物を買う、お買い物残ったグループの順位をつけたけれど、材料が入っていた容器や包装を、処理するときに二酸化炭素が発生することを知りました。地球の資源でまうという話を聞いて、「自分たちでできることは何だろう？」「ゴミをう？」とゴミを少なくする工夫を考えて、発表しました。



環境のことがよくわかりました。たくさんリサイクルしたいです。ペットボトルやバックなどを捨てないようにしたいと思っています。家族にも教えてあげて、ものを大切に使うと思います。



子どもからできる事があることが分かりました。地球温暖化はどんどん進んでいるので、いつか涼しくなったりしないかと思いましたが、ぼくたちがゴミと思うものが、動物には違って見えたり、人間だけがゴミだと思うことが分かりました。



ゲームが楽しかったし、環境の勉強になりました。今日学んだことはノートに書いておきたいようにして、家族にも話してみます。



とても楽しかったけど、魚の絶滅危惧種がいるのはかなしいと思った。あと、人がもう食べられないと思ったものも、動物はそれを食べ物と知っていることを知っておかないといけないと思った。川にいろんなものを捨ててはいけないことも分かりました。これからも自然のことを忘れずに気を付けたいです。



川の魚のことを思ってブラックカードは何か考えます。川にゴミをふやさないようにがんばります。もっともって地球のことを知りたくなりました。



動物によって食べられる(取ることができる)カードが限られます。



エコがたくさんあることに気づきました。
エコアクションを続けていきたいです。



豊川市立千両小学校4年生

エコトークセッション

2020年1月28日(火)

千両小学校4年生25名は、

川とわたしたちの生活が大きくつながっていることを知り、
生き物や自然を守るために、自分たちには何ができるかを考えました。

1

学び(座学)と 感じる(体験)

地球にやさしいお買い物の方法や
水の大切さについて、
体験的に学ぶことで、
身の回りの環境のことを
より深く考えることができました。



2

シンパシー ワークシヨップ

カードゲームで、
川の生き物の気持ちになって
自然について感じ、考えました。



3

エコアクション

エコについて調べて
毎日の暮らしの中で、
自分たちにも「エコ」が
できることがわかりました。

